

令和7年度グループホームみやこ
地域連携推進会議 議事録

1、日時

令和8年1月26日(月) 16:00~17:00

2、場所

みやこ学園 食堂

3、参加者

- ① 利用者代表 吉濱 登 氏(グループホーム 利用者)
- ② 利用者家族 友利 和美 氏(グループホーム 家族)
- ③ 地域関係者 新城 美津枝 氏(腰原自治会副会長・民生委員)
- ④ 福祉関係者 下地 博典 氏(社福 ムサアザ福祉会 ふれあいの里施設長)
- ⑤ 宮古島市担当者 友利 清政 氏(宮古島市 障がい福祉課 課長)
- ⑥ 法人本部 伊志嶺 博司 (社福 みやこ福祉会 総合施設長)
- ⑦ " 與那城 要 (社福 みやこ福祉会 庶務課長)
- ⑧ " 根間 玄孝 (グループホームサービス管理責任者)
- ⑨ " 石嶺 咲希 (社福 みやこ福祉会 事務員)

4、開会のあいさつ(総合施設長:伊志嶺)

今年度より義務化となり、皆さんにお集まり頂き感謝申し上げます。当法人では現在2か所のグループホームを運営しており、住宅地にあることから地域との連携は不可欠と日頃より感じております。開所当時は、自治会長にテープカットをしてもらったり、ホームのメンバーが腰原敬老会の余興をしたりと交流がありました。本日は、地域からご意見をざっくばらんにお話が出来たらよいと思いますので、よろしく願いいたします。

5、趣旨説明(庶務課長:與那城)

近年、施設運営は、社会福祉法人等だけではなく株式会社も参入し、支援を行う事業所がとて増えてきており、福祉サービス費も18年で4倍に増えている状況にあります。そのため、支援の質の確保や維持が望まれている。また、総合支援法への改正にて、“地域や職場で支援を受けながらその人らしく安心して暮らすことの体制構築”が求められている。グループホームは生活の場なので、支援内容や日頃の様子については見えにくい。そのため、外部の目を入れて、透明性を高めていくことが求められている。そのため、地域連携推進員の方々を任命し地域連携推進会議を行っていきます。会議の目的は4つ①利用者と地域の関係づく

り ②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進 ③サービスの透明性・質の確保
④利用者の権利擁護でありこれにより支援の質の向上や地域で運営がし易くなるなどの効果
が求められる。委員の皆様の役割としましては会議参加と施設を訪問し環境や利用者さん
の様子の確認を行っていただきます。会議と見学の日を別日に設けておりますが、今後は同
日の開催でも可能なよう調整していこうと思います。本日は、よろしくお願い致します。

～委嘱状交付～

4、議題

① グループホームの紹介(概要・職員配置)

・共同生活援助事業(グループホームみやこ・とも)2か所運営している。

*グループホームみやこ

女性のみ 10名 平均年齢 52歳 最高齢 73歳

*グループホームとも

男性 7名 女性 3名 平均年齢 56歳 最高齢 71歳

◎グループホームの居室の基準は 7.43㎡だが、当法人はみやこ(19.44㎡ 12畳)
とも(18.00㎡ 11畳)と基準の倍近くの広さとなっており、のびのびと過ごせるよう
提供している。

◎外部サービス利用型

◎利用料は、6万(内訳:家賃3万・食費2万・光熱費1万)

低所得者・非課税世帯には家賃に対して1万円の補足給付があり実質の本人負担
は5万円となっている。

◎職員配置は6:1

◎管理者1名/サービス管理責任者1名/世話人9名/宿直1名

◎勤務体制は 24時間のシフト制となっている。

平日:6:00~11:00/16:00~24:00/0:00~6:00

休日:6:00~11:00/11:00~20:00/20:00~24:00/0:00~6:00

② 利用者の日常生活・支援取組・事故

◎グループホームでの1日の流れを説明。“地域においての自立した生活“を目標として
おり、エンパワメント(本人の持っている力を引き出していく)の視点にて、出来ることは
ご自身で取り組んでもらっている。苦手なことについては、世話人より支援や助言を
図り、サポートしている。その中でも、家族や日中通所先・関係機関との連携は不可決。
日頃から情報共有を図っている。

◎事故については3件発生。主な原因として、慌てて行動した際の事故が多い。こまめな声かけ見守りを行い事故防止に努めています。ホーム内での事故に関しましては、当法人で加入している賠償保険で対応しています。

③ グループホームの運営状況(財務状況・課題等)

・運営については、大変苦しい状況にある。報酬改定にて、4:1→6:1になり報酬単価が下がった。それに加えて、人件費・光熱費、食費等の物価高騰にて負担が大きくなっている。また 24 時間体制での支援のため、足りない分は法人から持ち出しにて対応している。家賃についても、大家さんへは 4 万円支払っているが、本人負担は 3 万円となっており、法人が 1 万円負担するというやり方を開所当時から現在まで行っており、その点も見直しが必要かと感じている。

④ グループホーム視察日程について

視察日程をいくつか提示。

2月2日(月)16:00~17:00

みやこ→との順番で見学することとなった。

⑤ 意見交換

友利課長) 収支について、大家への支払い分だけでも値上げ出来ないですか？

與那城) 利用料の値上げについては、今後の課題です。

友利課長) 物価高騰の補助金への申請はされていますか？

與那城) 申請してもらっていますが、30万程でした。

下地さん) 自身の施設では、世話人は8時間の対応となっているため、24時間での体制はとても手厚いです。入居されている方は幸せだと思います。

與那城) 世話人が 24 時間体制で入っていることも収支がマイナスになる要因だと考えております。対応についても今後法人で検討していきます。

友利さん) 親が他界しておりますので、兄弟でみています。自宅で一人過ごしていることもあったので、グループホームでの生活は楽しいと本人も話しています。

新城さん) とても手厚い支援で感銘を受けました。でも、収支がマイナスなのが大変だと思ったので何か方法があればよいですね。

與那城) 報酬改定にて、4:1 から6:1 に変更になったことで、支援費が 400 万程マイナスに

なった。令和8年度も報酬改定をすると決まっているので、現在増えている、グループホーム・B型など単価が安くなる可能性がある。また外部サービス型は全国的にも減少傾向にあるため、世相を踏まえて検討していく必要があると感じています。

◎施設見学 令和8年2月2日(月) 地域推進員5名

16:00～ グループホームみやこ、とも

サービス管理責任者の根間より、GHでの生活を口頭にて説明し、共有スペースや居室を見学。基本的には自立を目的としているため、本人ができるように支援しているが、苦手な部分などは世話人がサポートしている。

推進員の皆様の感想

- ・居間や居室が明るく、風通しも良い。
- ・広々としているので、住んでいる方はとても過ごしやすそう。
- ・24時間体制は大変だと思うが、入居者は幸せですね。
- ・自立度が高く、スポーツをされている方もいて驚いた。
- ・とても、アットホームな印象で、利用者さんたちも安心して暮らせている様子が伝わってきます。